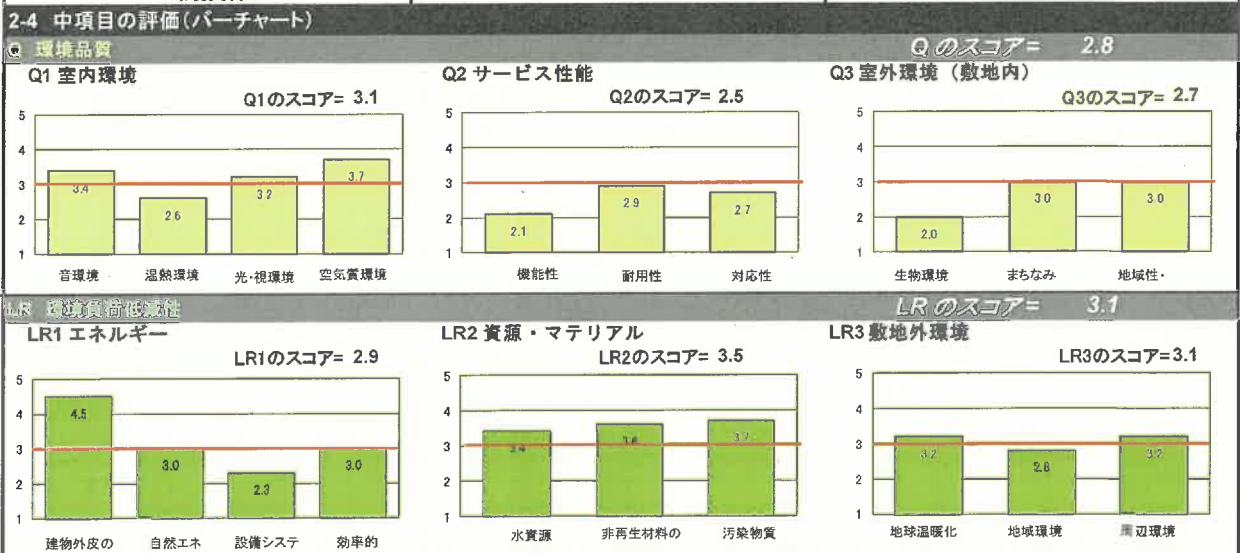
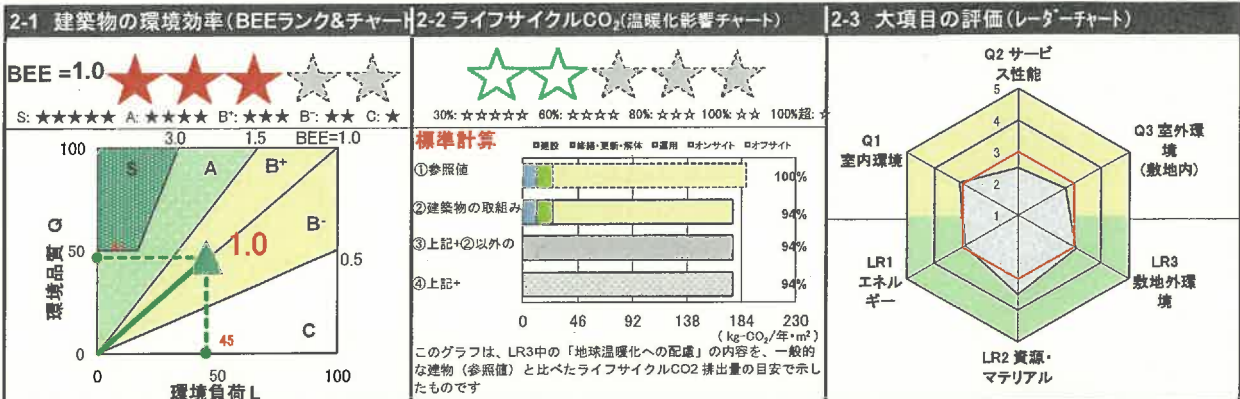


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)アパホテル(鳥取駅前)新築	階数	地上8F	
建設地	鳥取県鳥取市富安2丁目165	構造	S造	
用途地域	商業地域・法第22条区域	平均居住人員	250 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2024年3月7日	
敷地面積	861 m ²	作成者	日企設計	
建築面積	472 m ²	確認日	2024年3月7日	
延床面積	3,514 m ²	確認者	日企設計	



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
出来る限り緑地を設け、道路沿いに緑地帯を設けるなど配慮している。周辺環境と調和するデザインとした。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
内装材は全てF☆☆☆☆製品を使用した。	耐用年数の長い配管材を使用している。	外構緑化指数=20%以上
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
建物外皮の熱負荷抑制を行うとともに、高効率設備を採用している。	節水型便器を採用し、資源の有効利用に努めている。	光害の抑制に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される